

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		同じ認知症介護のご苦労を経験されたご入居者の家族同士、交流する場が少ない。	家族会の活動を通じてグループホームへの理解を深めていただき、これまで以上にご家族と一緒に力を合せ入居者の皆様を支えていけるよう、家族会の活性化に向けて活動を支援していく。	第3回家族会を企画し、6月に開催する。ご家族同士の連携と、ご家族とホーム間の連携を深め、ご家族からグループホームに対する要望を出しやすい雰囲気・環境づくりが出来るように、ホームとご家族が共に力を合せて行事を計画し実施する。	6ヶ月
2		地域の一員として「グループホーム」の認識、理解が深まってきたと感じることは多くなったが、地域の方にお世話になることの方が多く、地域と共存し、互いに支え合い貢献できるホームとしての役割は、まだまだ不十分。地域に役立つ「何か」を見付けて取り組みたい。	地域に住む中学生や父母、教職員に「グループホームの楽しさや役割」を知っていただく。	地元中学校のトライやるウィークを9月に受け入れる。事前に中学校の生徒や教師がトライやるウィークに求めているものを調べ、学んで帰って貰えるように話し合いを持つ。グループホーム側も継続した関係作りができるようにする。	6ヶ月
3		同上	地域の方にお世話になるだけでなく、お互いに支え合える関係を構築する。	身近な取り組みとして手始めに、近隣にお住いの皆様対象に5人程度の少人数の「食事会」を開催し、「グループホーム」の役割について、一人ずつ理解者を増やしていく。	1年
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。